

令和４年度小松市立粟津小学校 学校評価２

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・８月提出）	取組の成果と課題（年度末・３月提出）
生徒指導	児童が「みんなで」活動する学校づくりを推進する。		
	・児童へのアンケート結果を元に担任と児童で話し合い、各学年で年間の重点目標を決定する。 ・７月、１２月の意識調査をもとに取組を改善し、成果を共有してより効果的・効率的な取組とする。 ・南部中学校校下で連携し、児童の視点で魅力的な学校づくりに向けて取組を考え、共に実践していく。		
特別支援教育	児童一人一人の教育的ニーズに応じた教育を推進する。		
	・気づき票を通し、特別な配慮を要する児童の課題を把握し、適切な支援を行う。 ・組織的な特別支援教育を推進のため、コーディネーターを中心に現状を把握、評価した上で、児童の支援策を共有し、継続した支援が行えるよう児童理解の会を通して校内支援体制の充実を図る。		
道徳教育	日常生活で生きて働く道徳科の授業づくりを推進する。		
	・深い学びにつながる授業展開を行い、必要に応じて公開研修会で研鑽を図る。 ・授業の振り返りを道徳ノートに残し、自身の変容を実感できるようにする。 ・道徳科での学びを生かしている場面を評価し、児童が学びを実感できるようにする。		
保健教育	健康な生活づくりを推進する。		
	・感染症対策について理解を深め、児童自ら自分の健康を守る行動ができるようにする。 ・各学期に１度の「にこにこ生活プロジェクト」の実施を通して、メディアとの関わり方（自分を大事にするメディアコントロール）を考え、よりよい生活習慣を心がけられるようにする。		
情報教育	GIGAスクール構想を推進する		
	・タブレット端末の具体的な使い方や活用方法を提案していく。 ・年間計画に位置付けた、タブレット端末の効果的な実践方法に関する研修を年４回、操作方法に関する個人相談会を年３回行う。その他に随時研修会を行うことで職員の操作技能の向上、授業改善に努める。		

学校関係者評価	
---------	--